

1. 県立図書館に係るこれまでの経緯

- 昭和35年～55年 浦和（昭35）、熊谷（昭45）、川越（昭50）、久喜（昭55）図書館設置
- 平成8年1月 埼玉県立中央図書館（仮称）基本構想策定
- 平成14年10月 県立社会教育施設再編整備計画策定
- 平成15年3月 県立川越図書館廃止
- 平成26年10月 新県立図書館在り方検討有識者会議報告
- 平成27年3月 県立浦和図書館廃止
- 平成31年3月 第3期埼玉県教育振興基本計画（H31～H35年度）〈施策25 学びを支える環境の整備 新しい県立図書館の検討・推進〉
- 令和3年3月 新県立図書館在り方検討委員会（局内検討委員会）報告
- 令和3年12月 埼玉県5か年計画（R4～R8年度）〈分野別施策26 生涯にわたる学びの推進 新しい県立図書館の検討推進〉
- 令和4年3月 新しいタイプの図書館検討有識者会議報告

2. 県立図書館の課題 ※新県立図書館在り方検討委員会（局内検討委員会）報告より

➤ 専門的な資料、情報を駆使した県立図書館サービスの拡充

➤ 情報通信技術（ICT）を活用した県立図書館サービスの変革

➤ 多様なニーズに対応できるワンストップサービスの実現

検討の方向性

将来を見据え、県立図書館の役割を果たしていくため、新しい県立図書館についての検討を進めていく

＜主な論点＞

- ① 県立図書館の役割
- ② 様々な情報資源へのアクセスの在り方（プラットフォームの在り方 など）
- ③ 図書館サービスの内容（デジタル、アナログ など）
- ④ 市町村立図書館との連携の在り方 など